

授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導 I	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	脇山園恵・白男川尚・石岡和志・古川博文・林宏二	開講期	3年後期	単位数 1

【授業の主題】

精神保健福祉実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、実践的な技術などを体得することを目指す。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理を理解する。
- 2) 実習施設・機関と周辺地域の特性を理解する。
- 3) 精神保健福祉士が地域包括ケアの担い手となるチームアプローチを理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション～実習指導要領配布・実習ファイル作成～
- 第 2回 実習指導要領の説明
- 第 3回 精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む）に関する基本的な理解
- 第 4回 実習施設・機関・事業者・団体・地域社会などに関する基本的な理解
- 第 5回 個人のプライバシー保護と守秘義務の理解
- 第 6回 現場体験学習①：4年生実習体験談発表～事業所・病院～
- 第 7回 現場体験学習②：4年生実習報告会
- 第 8回 見学学習：障害福祉関係機関見学※見学先との日程調整により回の変更があり得る。
- 第 9回 実習施設の概要記入①
- 第 10回 実習施設の概要記入②
- 第 11回 実習施設の概要記入③
- 第 12回 実習施設の概要記入④
- 第 13回 実習計画書の作成①
- 第 14回 実習計画書の作成②
- 第 15回 実習計画書の作成③

【授業実施方法】 講義と演習（個人・グループ）で行う。

【授業準備】

精神保健福祉法並びに障害者総合支援法について復習し、実習先の法的位置づけや精神障害者の置かれている現状などを理解して、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】 精神保健福祉援助実習

【教科書等】

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 第2版』中央法規出版。

【参考文献】 必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（実習施設の概要、実習計画書、ミニレポートなど）70%、グループ発表（報告書）30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組んでください。1週間に複数回開講するので、遅刻・欠席がないよう自己管理してください。